

群青



八雲町立八雲中学校

令和8年度
7月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail : yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

ゼロでなくてはならないこと。

八雲町立八雲中学校長 植 田 資 世

10日(金)に2時間を使って「いじめ撲滅防止集会」が開催されました。本校生徒会が企画運営のすべてを自分たちで行う伝統的な取り組みです。最初の1時間は生徒会役員が各学級に赴き先生役として授業を行います。アイスブレイク(簡単なゲームなどをして緊張をほぐし話し合う環境を整えるもの)から始まり、いじめの構造、言葉の暴力、友達・人との関わり方について学級ごとに考えを深めていきます。そして、これらを踏まえて、学級ごとにスローガンを作成します。入念な準備と実行力、それを真剣に受け入れ協働する姿勢は八雲中学校生徒だから実現できる素晴らしい活動です。私は日本全国に誇れることだと本気で思います。来年度はぜひ保護者地域の皆様にも見に来ていただきたいと思います。

この紙面を借りて生徒の皆さんにもぜひ伝えたいことがあります。それはこの活動のゴールです。せっかくの活動ですから「勉強になったね」、「意識しようね」といったスローガンを掲示して終わり…ではもったいない。ゴールは「ゼロ」です。この活動をきっかけとして「**いじめがゼロになる**」ことが真のゴールであり、今後、嫌な気持ちになる生徒が一人でも現れたらこの活動自体の意

義がなくなってしまう、極端かもしれませんがそれだけの覚悟が必要な取り組みだと思うのです。活動中、3年生の役員に素晴らしい活動であることを伝えたと、我々の学年にはいじめがありません(この活動を3年間やってきているので)。と話してくれました。彼を、生徒の皆さんを誇りに思います。共に継続していきたいと思います。

学校が安全で安心できる場所であることは生徒が成長するためには不可欠です。今回の活動以外でもこんな活動が始まります。熱中症防止のための水分補給の活動です。整美委員会が主体となって活動します。最終的には強制補給ではなく、自分の体調や活動量に合わせて自身が必要な水分量を判断して補給する力を養うものです。段階的に活動を進めていくようです。このような活動を積み重ねて八雲中は「**自分で考え判断し、行動できる人になる**」ことを目指していきます。

夏季休業に入ります。ますます自分で考える、考えなければならない場面が増えます。ご家庭のご協力をお願いいたします。